

北駅前広場のレイアウト検討に向けて

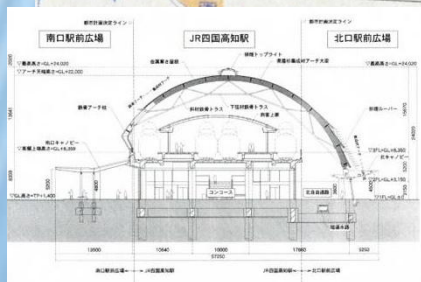
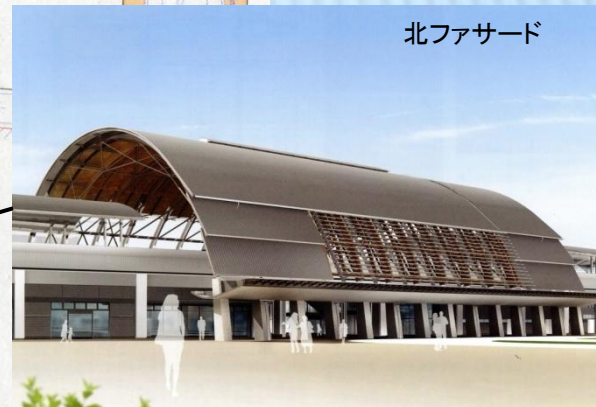
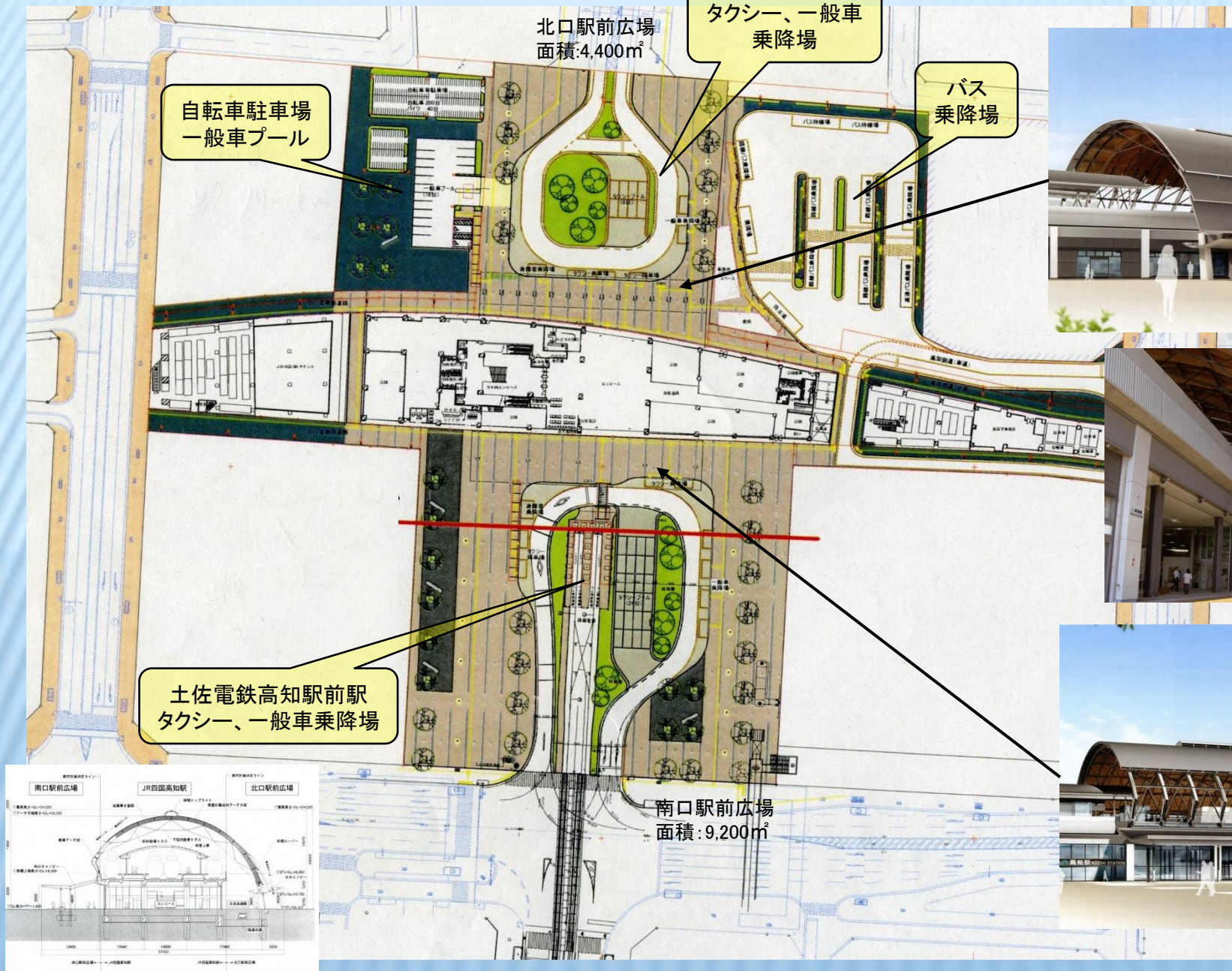
平成21年4月10日

第1章

他都市の事例

高知駅北口・南口広場

出典: 高知市資料



岐阜駅北口広場

出典: 岐阜市資料

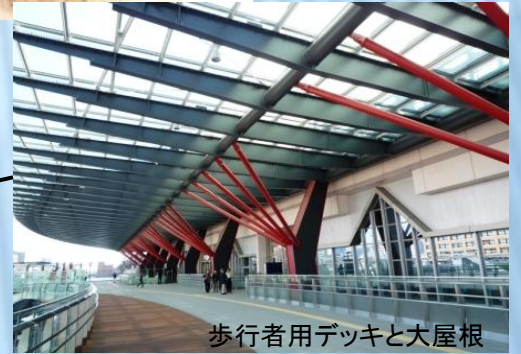
岐阜駅北口駅前広場

施設整備 (1)

安全でわかりやすく便利な駅前広場

- 駅前広場は都心の総合的な交通結節点として、暮らしを支え、安全でわかりやすく便利になります。
- 来街者の利便性や安全性に配慮して乗り継ぎしやすくなります。
- すべての人にやさしいユニバーサルデザインを取り入れ、快適な利用環境になります。

面積: 26,500㎡



施設整備 (2)

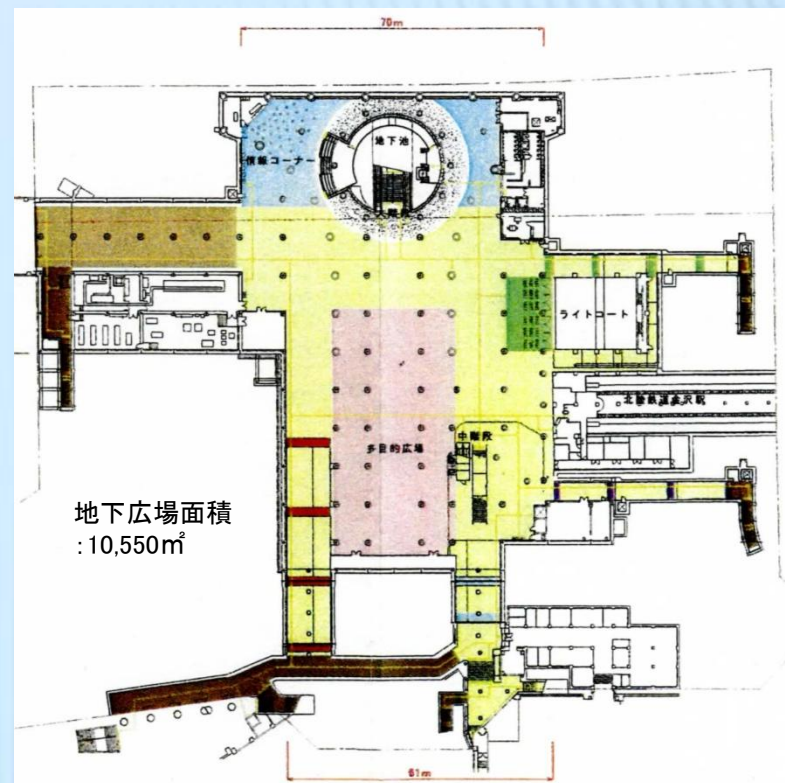
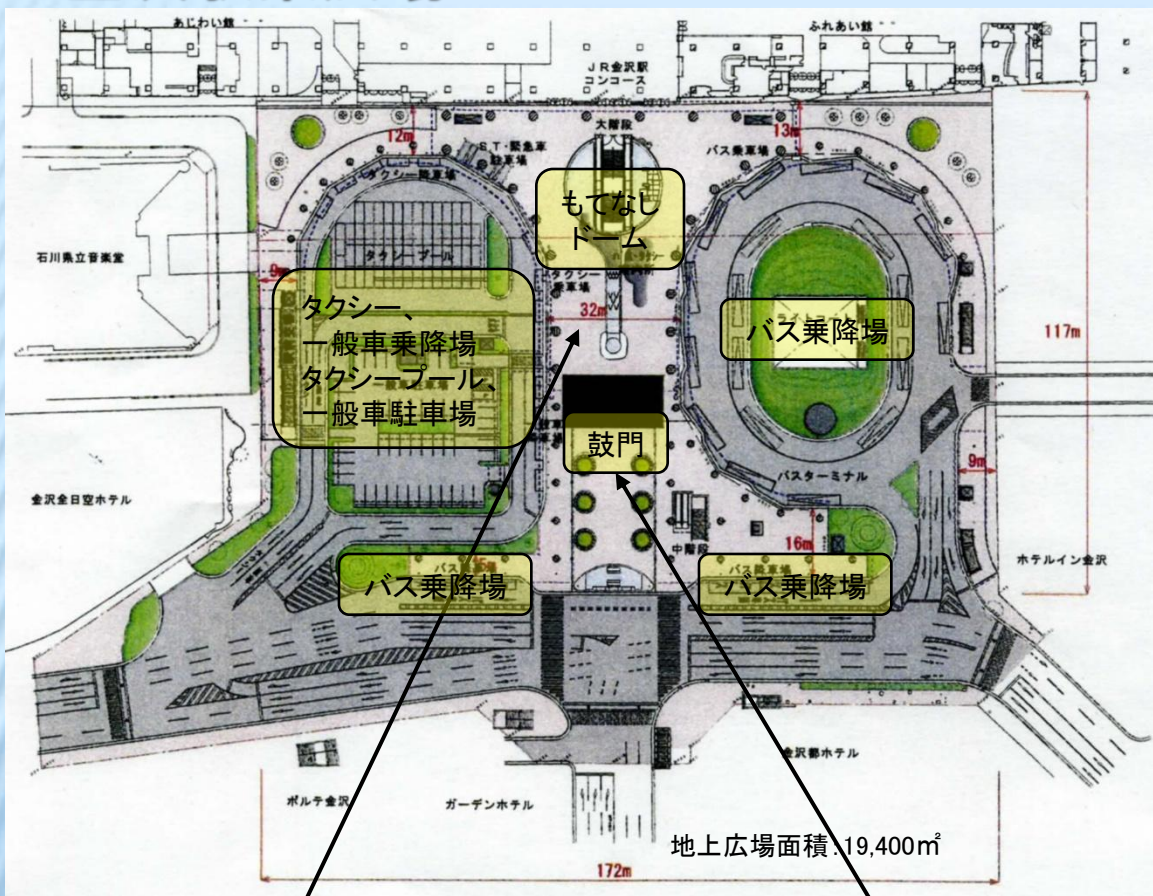
緑豊かなにぎわいのある駅前広場

- ◆ 広場全体に緑を配置し、都心にやさしさをもち自然との共生をはかります。
- ◆ 広場中央に交流・イベント空間を確保し、にぎわいの創出を図るとともに防災空間とします。



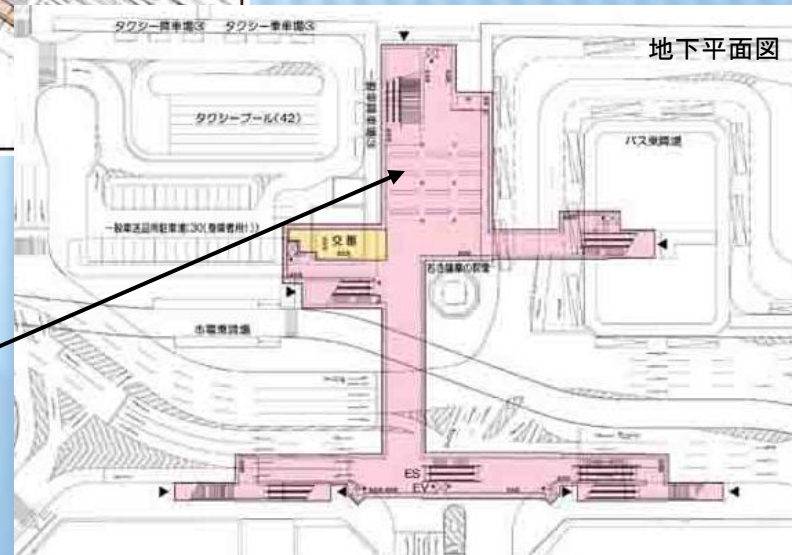
金沢駅東広場

出典: 金沢市・石川県資料



鹿児島中央駅東口駅前広場

出典：鹿児島市資料



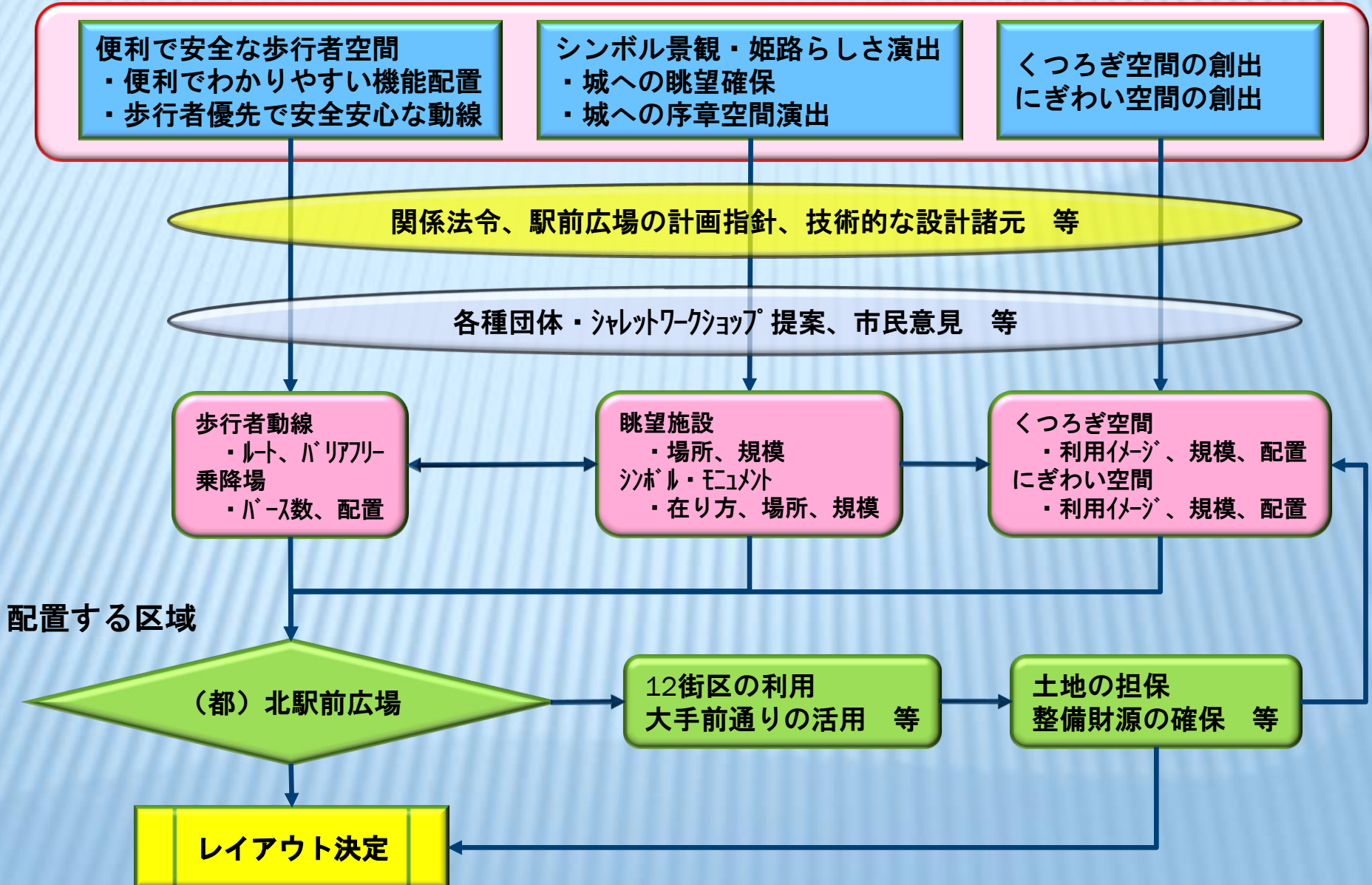
第2章

レイアウト検討の進め方

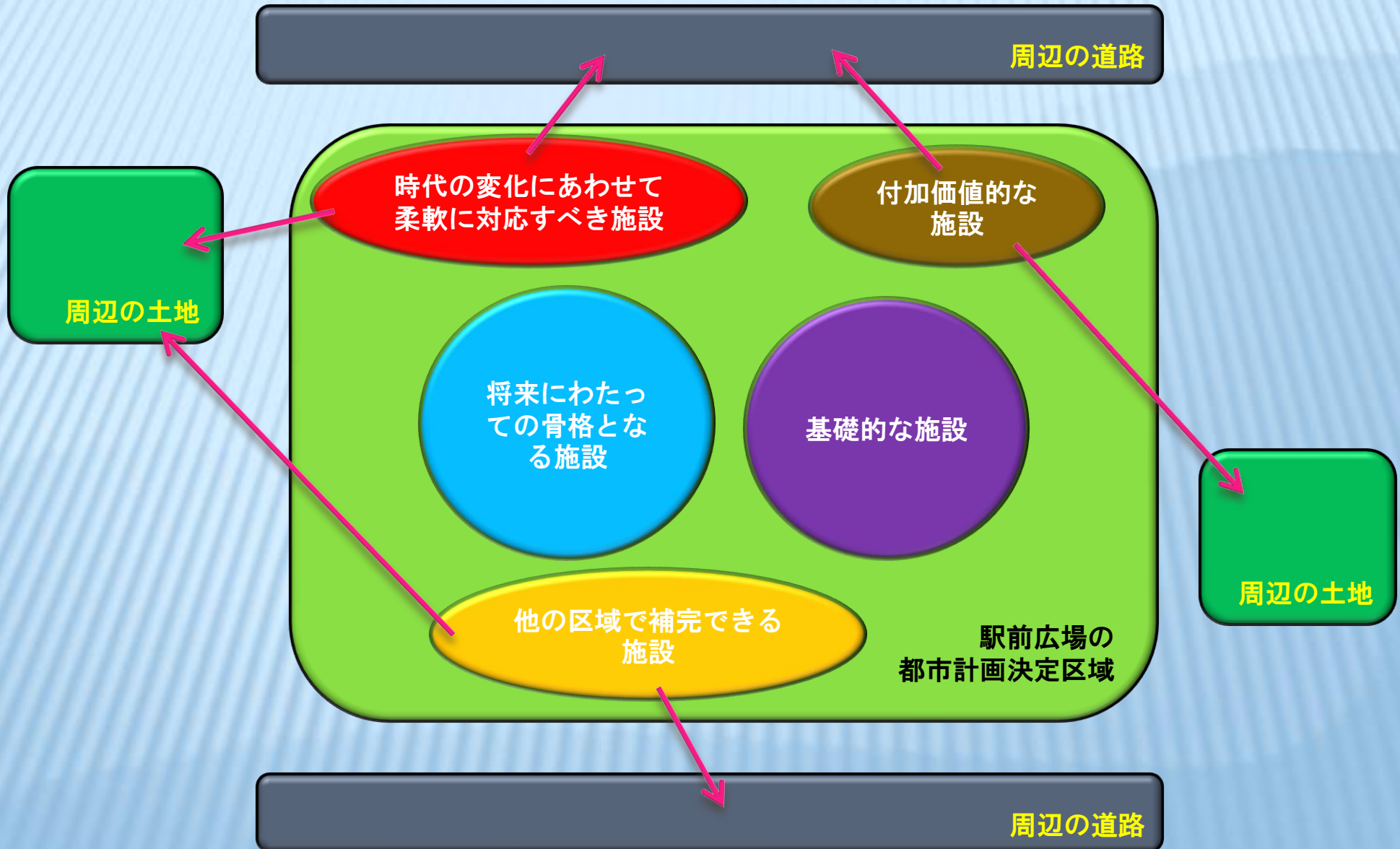
レイアウト検討フロー

確保する空間

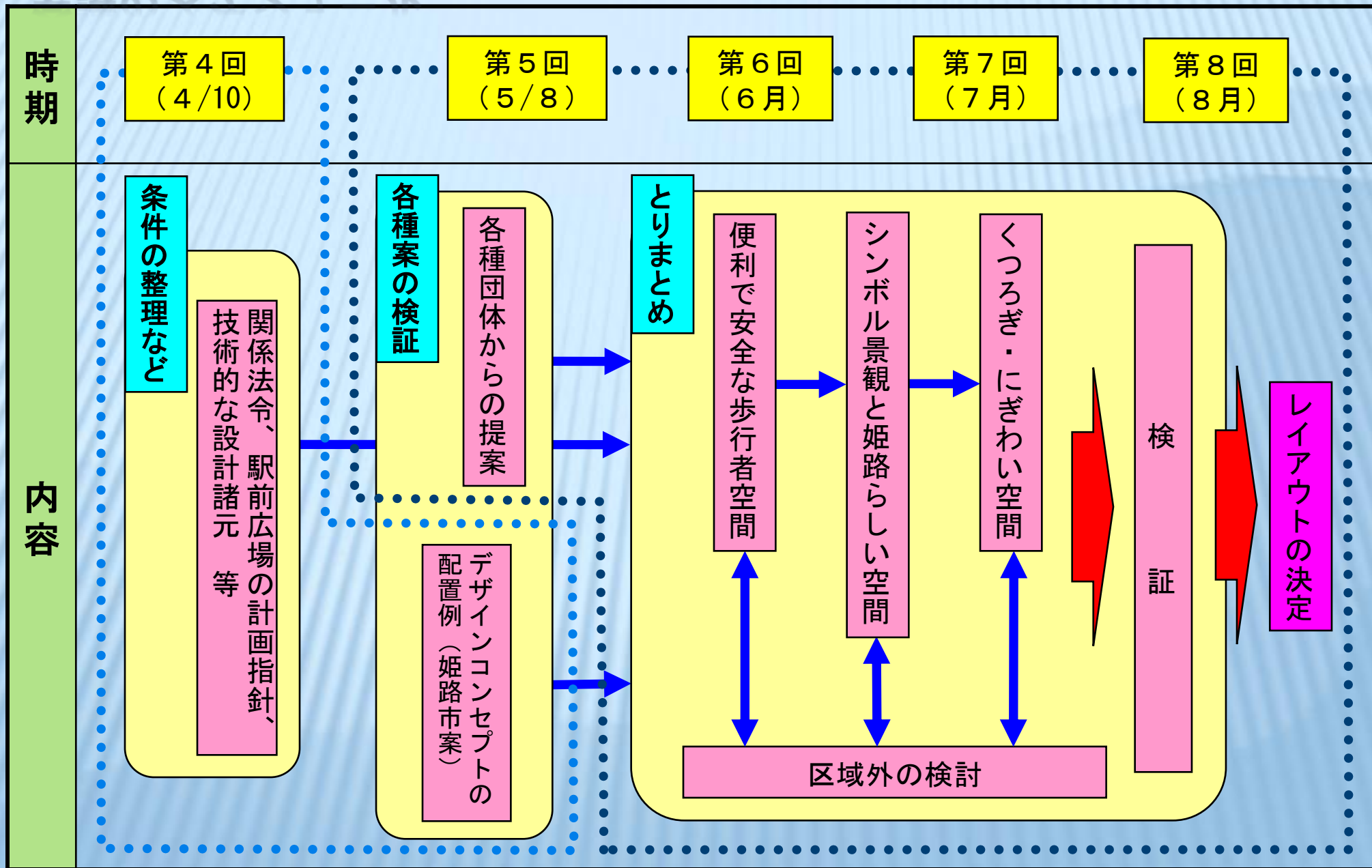
空間デザインの考え方（広場の空間形成に関する基本的な考え方）



レイアウト検討対象地の優先順位



会議のスケジュール



第3章

レイアウト検討の前提条件

駅前広場の関係法令

都市計画法第11条に規定する「都市施設」である「都市計画道路」の一部

北駅前広場は大手前通り（都市計画道路駅前幹線）の一部

関係法令

◆道路交通法

道路における危険を防止し、その他交通の安全と円滑を図り、及び道路の交通に起因する障害の防止。

- ・ 歩行者、車両等の交通方法、運転者等の義務、道路における禁止行為 等

◆道路構造令

道路を新設し、又は改築する場合における道路の構造の一般的技術的基準。

- ・ 設計車両の諸元（大きさ）、道路幅員、車線数、回転半径 等

◆条例（予定）

関係法令に違反しない範囲で、公の施設である「駅前広場」の設置及び管理に関して必要な事項を定める。

- ・ 設置目的、管理方法、利用等について議会の議決を経て制定

駅前広場の基本的な空間構成

交通広場は鉄道利用者のバスへの乗換えなどのターミナル交通を処理する「交通空間」としての役割と、買物客や待合せなどの人々の交流や都市景観を形づくるなどの「環境空間」としての役割を担っている。

駅前広場

交通結節機能

(交通空間)

バス、タクシー、自家用車乗降場 等

都市の広場機能

(環境空間)

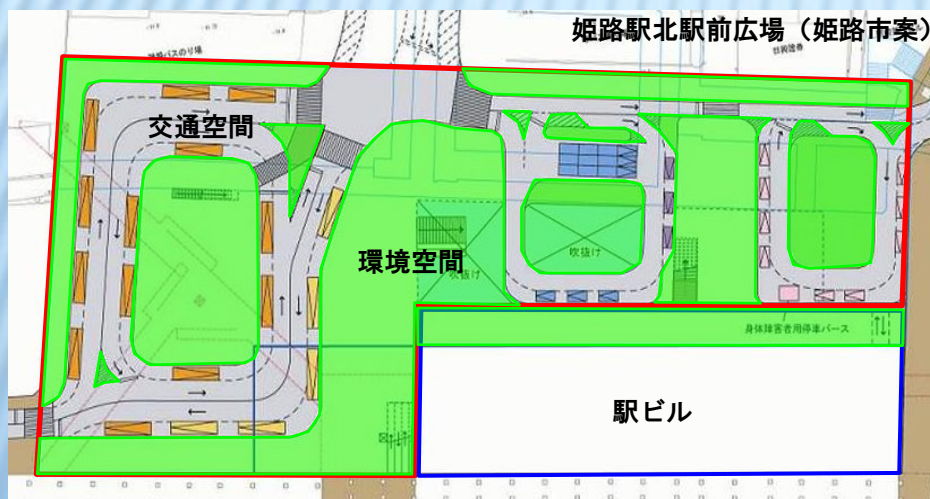
市街地拠点機能 (都市拠点の形成)

交流機能 (憩い・集い・語らいの中心)

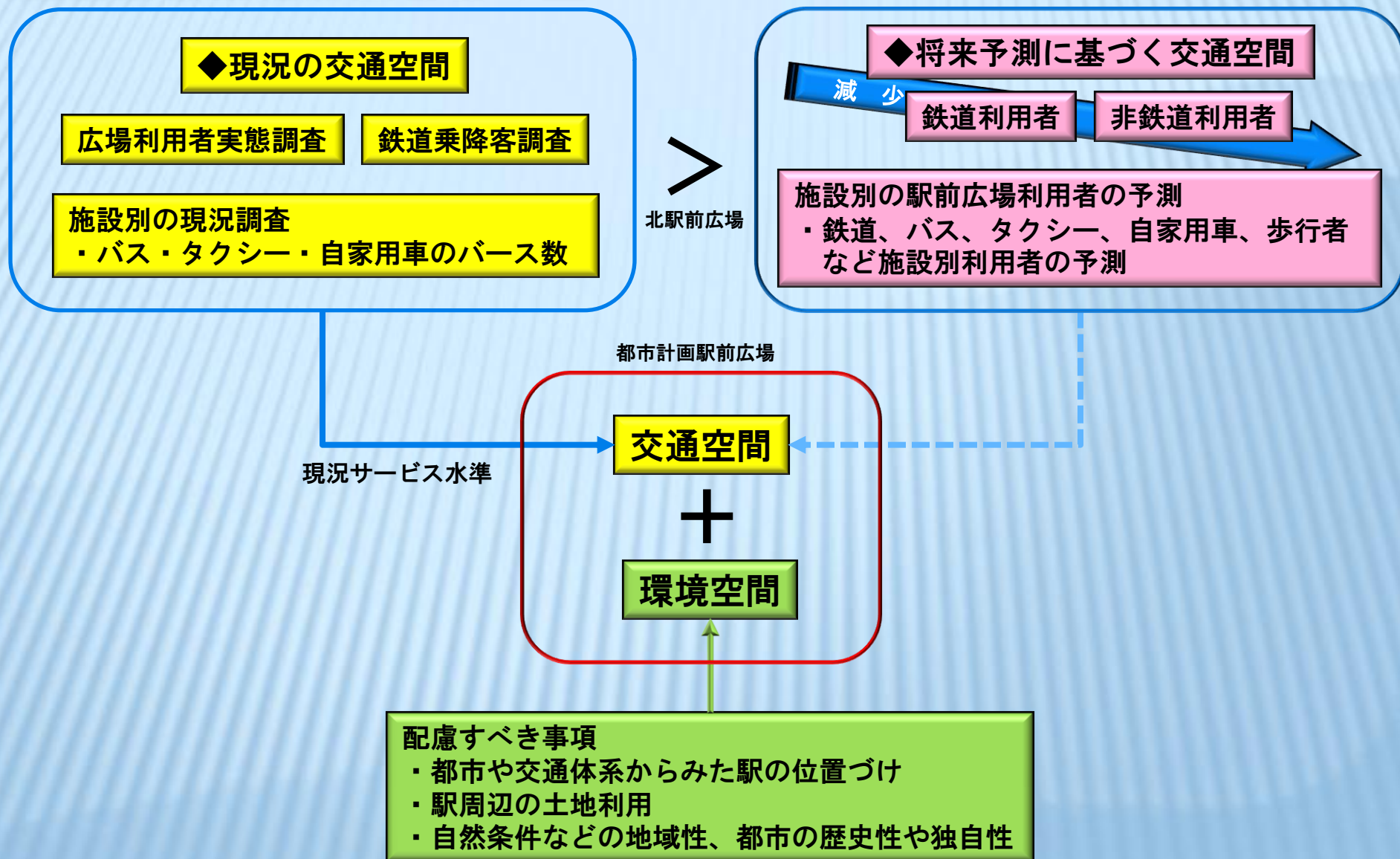
景観機能 (都市の顔としての景観形成)

サービス機能 (公的サービス、情報の提供)

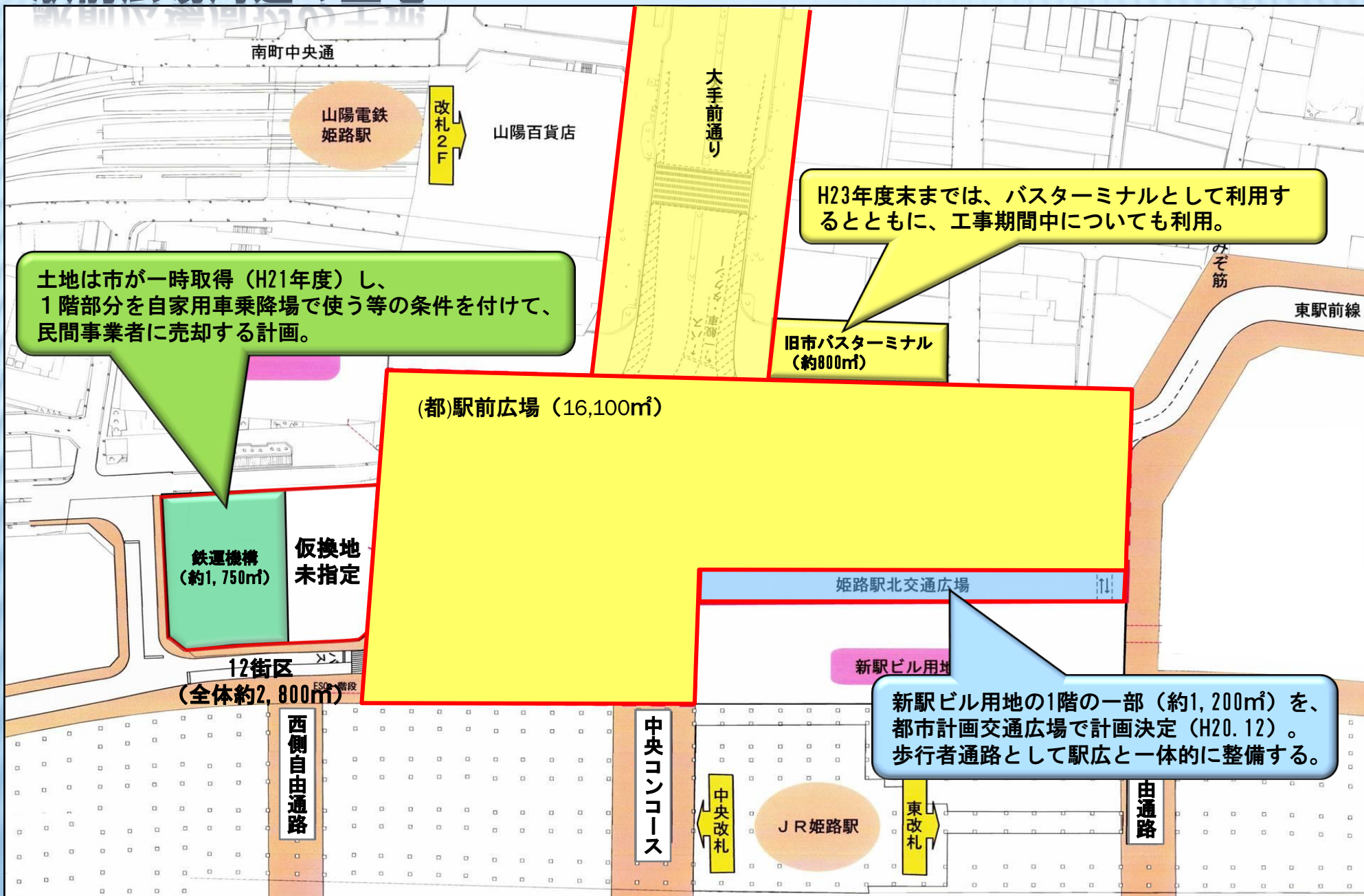
防災機能 (防災活動拠点)



駅前広場の面積算定の考え方

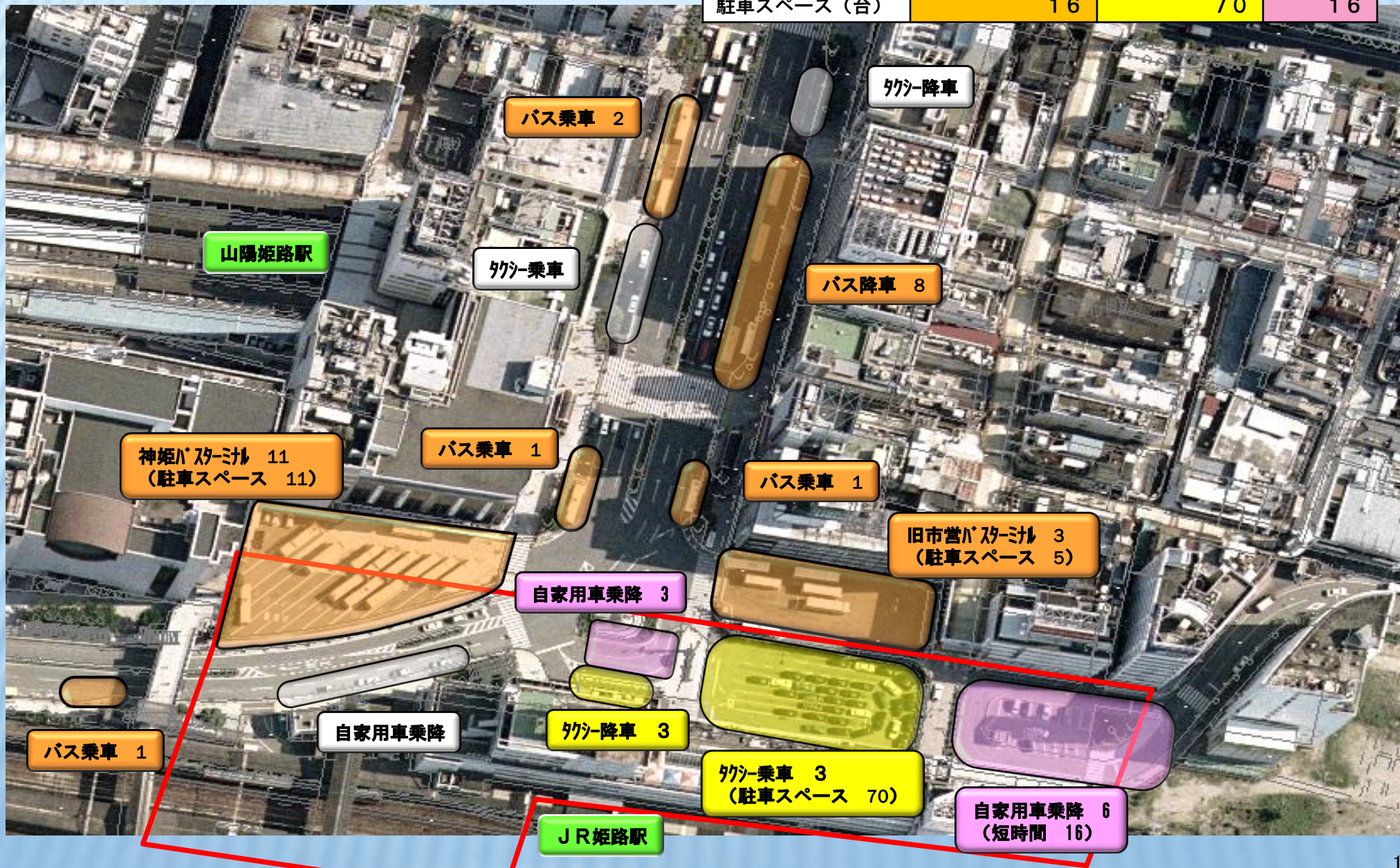


駅前広場周辺の土地



北駅前広場周辺の乗降場の現況

	バス	タクシー	自家用車
乗降場 (バス)	乗車 19、降車 8	乗車 3、降車 3	乗降 9
駐車スペース (台)	16	70	16



交通空間の計画指針と技術的な諸元

計画指針 (出典：駅前広場設計指針 (社団法人日本交通計画協会))

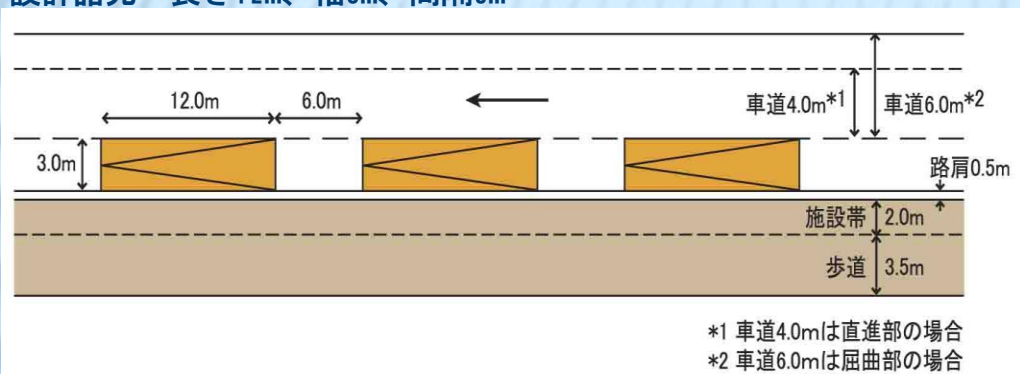
- ・広場内への通過交通の進入排除
- ・交通動線の単純化、円滑化、最短化
- ・人と車の動線の分離 (平面交差は極力少なく)
- ・高齢者などの利用に配慮
- ・利用者に迂回感を感じさせない線形

等

技術的な諸元 (矩路市案を計画するにあたって設定した諸元)

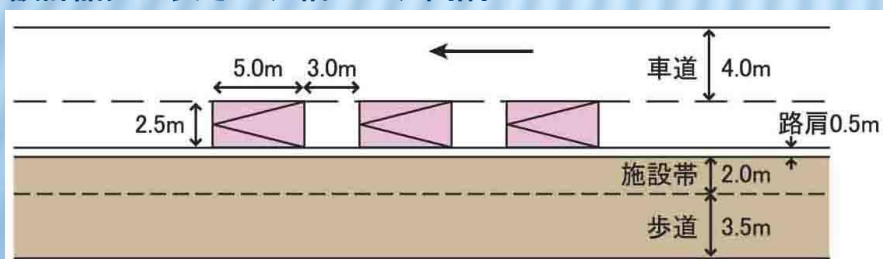
バス乗降場

設計諸元⇒長さ12m、幅3m、間隔6m



タクシー・一般車乗降場

設計諸元⇒長さ5m、幅2.5m、間隔3m

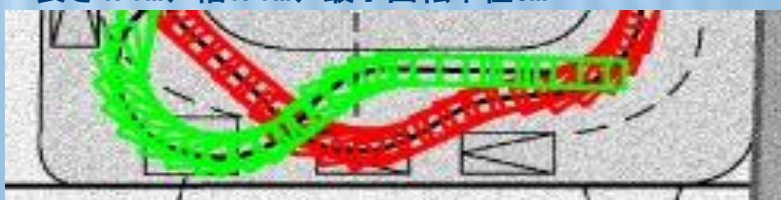


設計車両による軌跡の検証

設計車両の諸元 (路線バスの車両)
⇒長さ10.5m、幅2.5m、最小回転半径8.3m



設計車両の諸元 (道路構造令)
⇒長さ4.7m、幅1.7m、最小回転半径6m

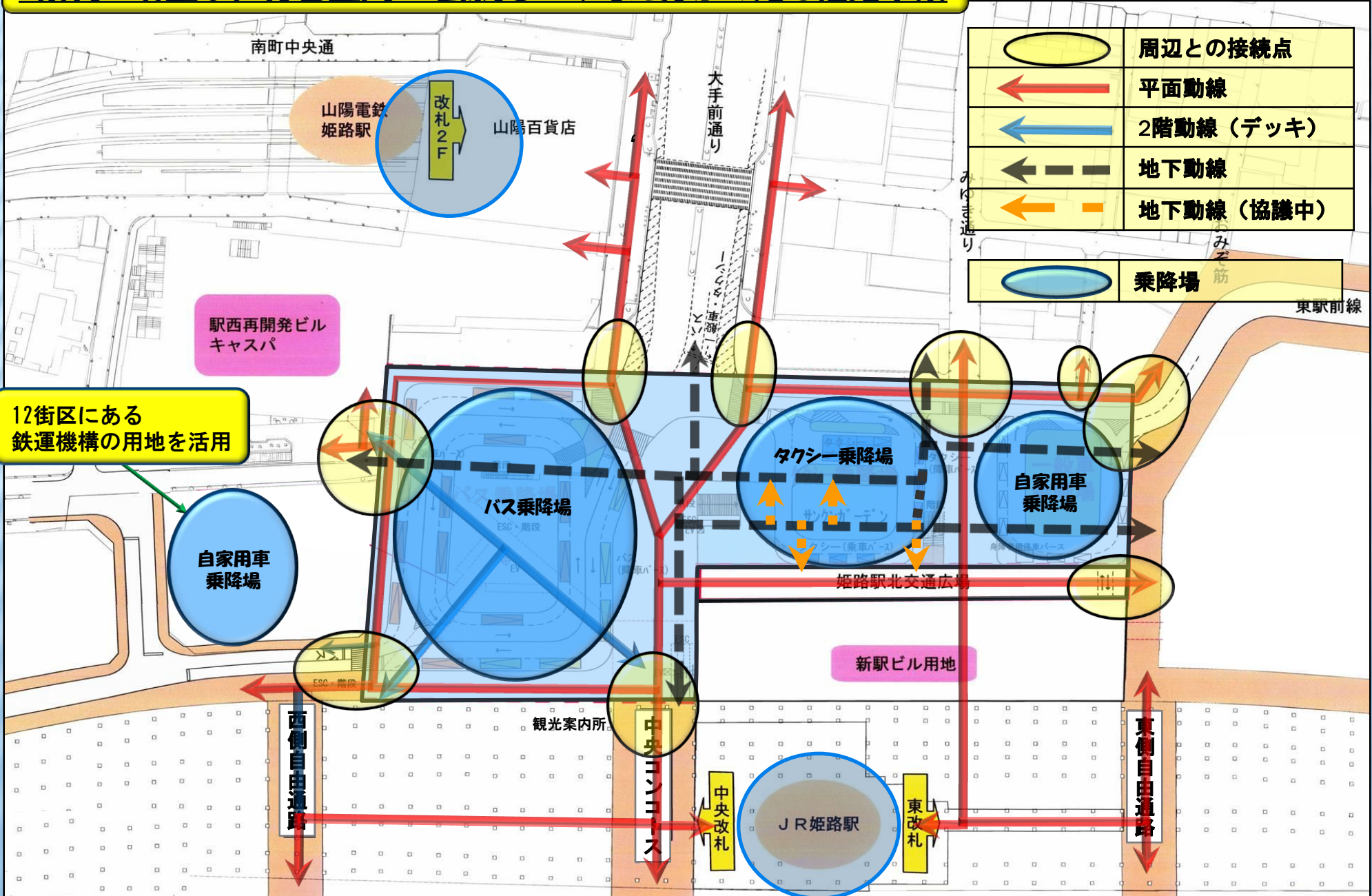


第4章

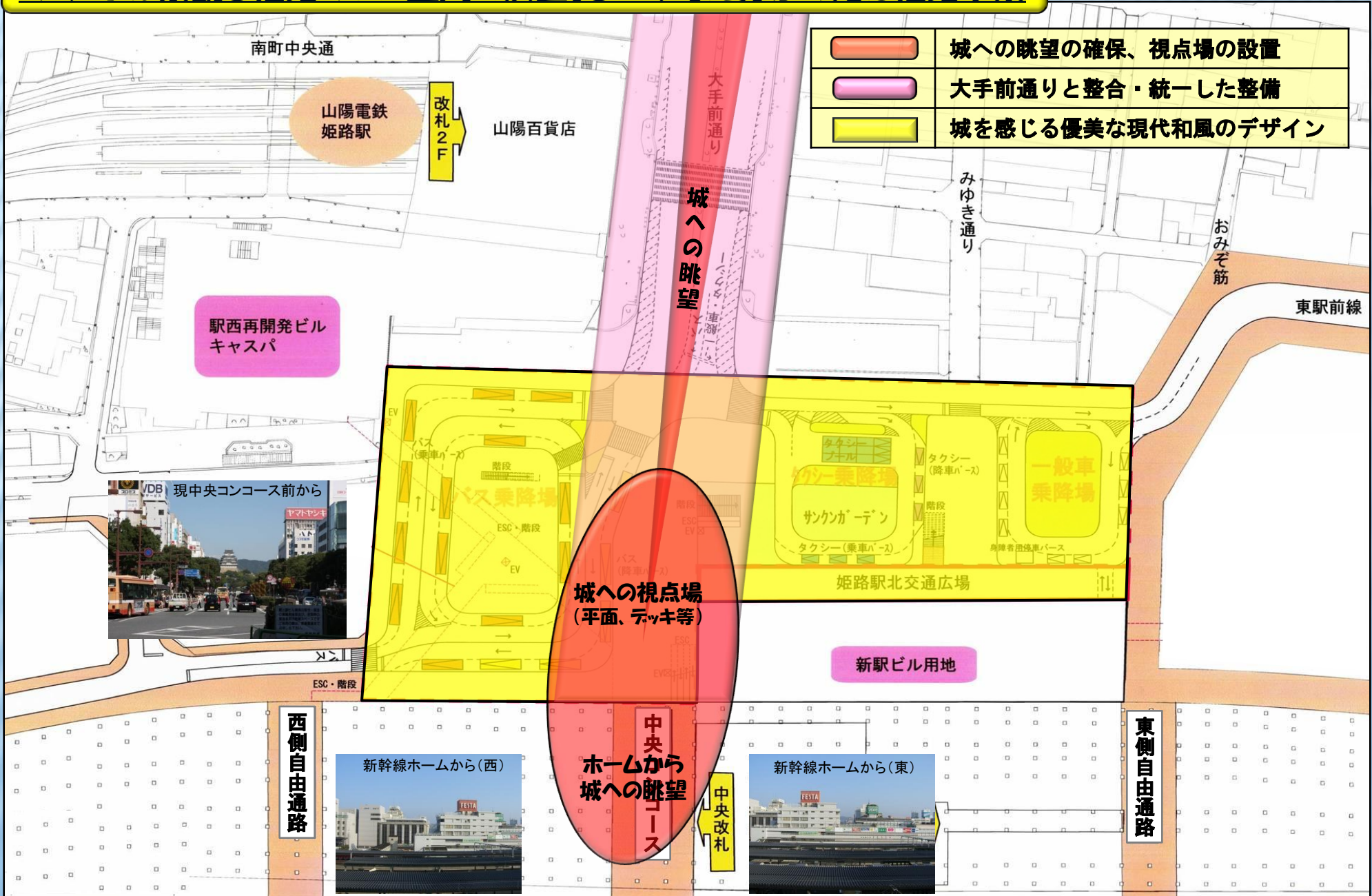
デザインコンセプトの配置例について

～姫路市案に当てはめた場合～



「便利で安全な歩行者空間の確保」という考え方から見た姫路市案

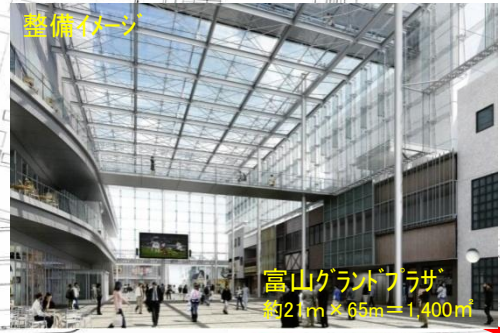
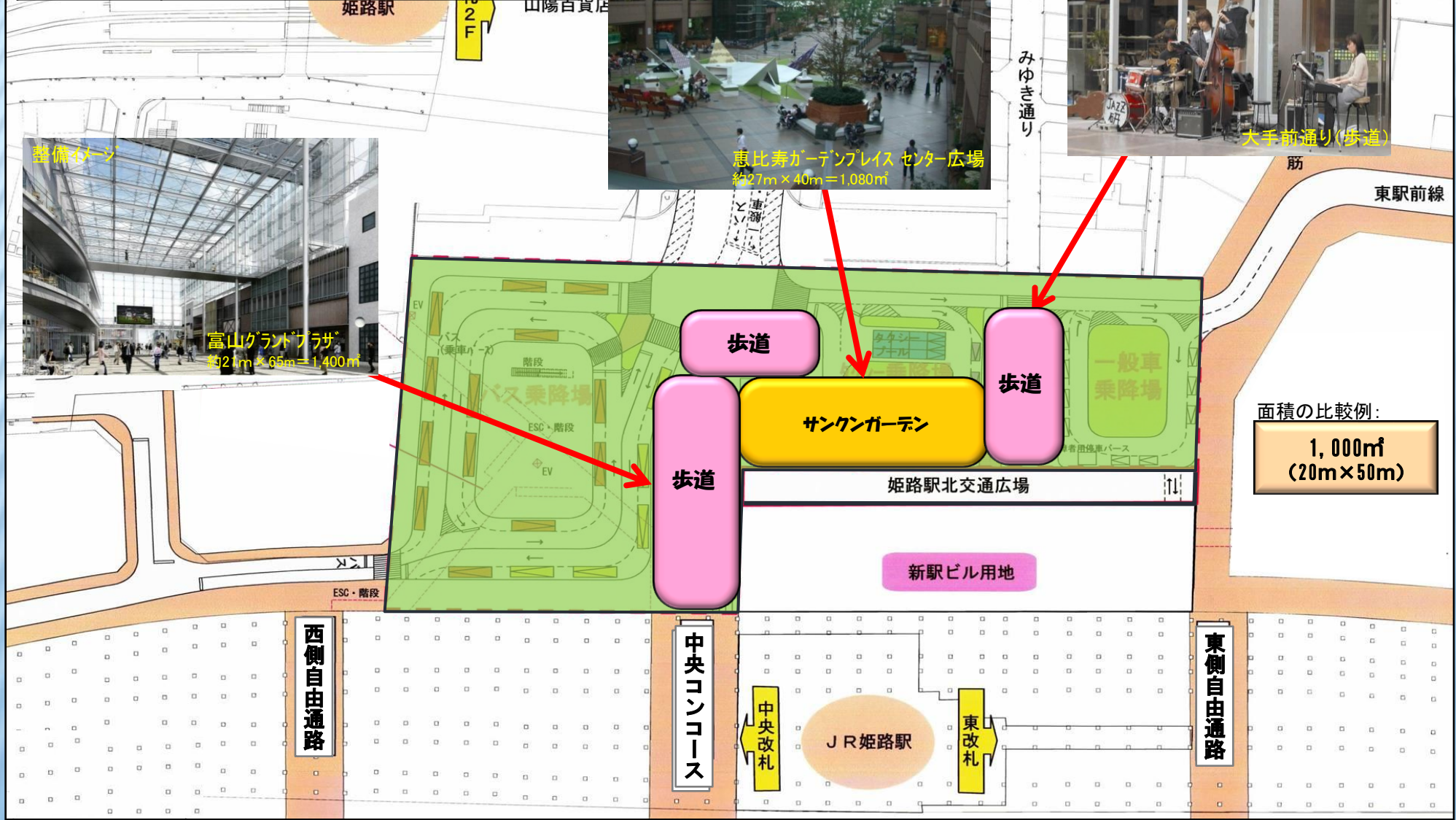


「シンボル景観と姫路らしい空間の演出」という考え方から見た姫路市案



「くつろぎ・にぎわい空間の確保」という考え方から見た姫路市案

	くつろぎ・にぎわい空間の核
	イベントも可能な広い歩道(広場)



面積の比較例:
1,000㎡
(20m×50m)

今後の進め方について

条件の整理など

今回

関係法令、駅前広場の計画指針、技術的な設計諸元等

意見交換

各種案の検証

各種団体等からの提案

デザインコンセプトの
配置例（姫路市案）

次回以降

とりまとめ

推進会議での意見

- ☆便利で安全な歩行者空間の確保
- ☆シンボル景観と姫路らしい空間の演出
- ☆くつろぎ・にぎわい空間の創出

周辺施設の活用等

- ☆12街区の利用
- ☆大手前通りの活用
- ☆整備財源の確保など

レイアウト決定